

SUKE3 KAKU3



平成30年度

着任のご挨拶

だいき けんじ

茨城県産業技術イノベーションセンター長 大力 賢次

4月から新たにセンター長に就任し、就任早々に今後のIoTや食品分野におけるイノベーション推進拠点としての新棟をお披露目致しました。また、7月には名称を「茨城県産業技術イノベーションセンター」へと変更致しました。

これまで、センターや県庁関係課で築いてきたネットワークと経験、企業の皆様との信頼関係を活用し、本県産業が必要としている「技術革新」を自らが牽引し、県内外にイノベーションを発信していくセンターを目指し改革を進めているところでございます。

今後は、「イノベーションで新しい茨城づくりに貢献します」を新スローガンとして、職員一丸となり県内企業の皆様方の「チャレンジ」を支援します。また、センター自らが、皆様へ新たなソリューション

の提案を目指し、従来の支援に加え新たな「チャレンジ」を試みてまいります。同時にこのようなチャレンジを進めるための体制の整備や職員の育成、他機関との連携強化や外部人材の登用・活用、機器や施設の整備等も検討してまいります。

技術支援だけでなく、イノベーション創出につきましても、皆様の期待以上のサービス提供を目指していきたくと考えておりますので、より積極的な活用をお願いいたします。

最後になりましたが、当センターの取り組みに多くの皆様からご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。願ひ申し上げて、就任の挨拶とさせていただきます。

茨城県工業技術センターは平成30年7月1日より

「茨城県産業技術イノベーションセンター」に名称が変更になりました！



平成30年3月に竣工したIoT/食品棟は、模擬スマート工場や3Dものづくり実験工房、各種食品加工分析設備を備え、企業の新製品開発や技術者育成などを支援します。

！ こんなとき、当センターをご活用ください

・相談 (無料) 日常的な技術課題、技術開発、海外規格、競争的資金獲得、産学連携、イノベーション創出など、まずはご相談下さい。 P6 P7

・依頼試験 (有料) 材料や製品などの試験・分析を行います。試験成績書の発行も可能です。 P5

・設備利用 (有料) 技術開発、品質向上等を目的に、当センター保有の分析機器や測定機器を開放しています。

累計

77件 受託研究 (有料) 企業単独で実施が困難な新技術・新製品などの研究開発について、その一部を当センター職員が実施し、成果をご報告いたします。研究開発人材の育成支援の対応も可能です。 P4

・研究会 (無料) 企業交流促進、情報共有、新技術・新事業やイノベーションの創出を目指す研究会です。

・人材育成 (無料) 次世代技術や地域資源活用、陶芸人材、結城紬後継者、食品微生物管理、清酒製造、IoT・ロボット技術者育成などの受入研修が可能です。材料費は自己負担の場合があります。 P3

茨城県産業技術イノベーションセンター

イノベーションで新しい茨城づくりに貢献します

■産業技術イノベーションセンターが進める研究開発など

技術革新を牽引する先導的研究開発を推進します。

●平成30年度 研究テーマ

機械学習による産業用ロボットの自律的な動作生成に関する試験研究事業	H30-32 NEW	ロボット導入時の作業負担を軽減するため、生産現場では一般的なほめあい作業を対象に、画像センサで取得した情報から機械学習を活用することで、産業用ロボットの動作生成を行う手法の確立を図ります。
非侵襲的に摂食時の嚥下機能状態をモニタリングする技術開発に関する試験研究事業 (メイン：県立医療大学)	H30-32 NEW	人が物を飲み込む際に発生する音（嚥下音・呼吸音）の自動抽出手法を開発するとともに、嚥下機能の評価アルゴリズムを確立し、在宅、施設において実用可能なプロトタイプを試作するための基礎的な研究を行います。
協働型双腕ロボットによる複雑形状部品の仕上げ加工に関する試験研究事業	H29-31	複雑形状部品を対象に、協働型双腕ロボットによる安定的な部品の把持方法及びバリの検出方法の検討と仕上げ処理にかかる力の特性評価を行い、ロボットによる複雑形状部品の加工システムの構築を図ります。
金型表面処理工法によるプラスチックの成形性向上に関する試験研究	H29-31	プラスチックの射出成形で使用する金型の熱伝導性を制御し、低温・低圧での成形や超精密形状の成形における品質の向上を目指します。本研究では、それらに最適な表面処理工法の確立を図ります。
量子線による高次構造解析を基にしたプラスチック製品の品質安定化プロジェクト (メイン：県科学技術振興課)	H29-31	引張応力や紫外線などの外的要因がプラスチックに加わった時の高次構造の変化を調べます。それにより、実使用環境下においても品質の安定性に寄与するような成形条件の確立を目指します。
軽金属 casting 材を用いた鍛造技術に関する試験研究	H28-32	高品質かつ低コストの鍛造技術が注目されており、本研究事業では、鍛造材を原料に用いることで低コストかつ高品質・高強度な鍛造部品の製作を目指します。
マイクロバブルを用いた環境調和型洗浄技術に関する試験研究	H28-30	環境負荷の少ない洗浄としてマイクロバブルによる洗浄技術が注目され始めており、本研究事業では、ベンチュリ管方式によるマイクロバブルを用いた低環境負荷及び高効率な環境調和型洗浄技術の確立を目指します。
納豆菌の発酵・熟成に関わる遺伝子の機能解析と制御に関する試験研究	H28-31	賞味期限切れにより廃棄される納豆食品を少なくするため、本研究事業では、納豆菌を遺伝子レベルで研究することにより日持ちする納豆食品の開発を目指します。
香り良い漬物製造が可能になる乳酸菌に関する試験研究	H27-31	乳酸菌の種類の違いによる発酵漬物の香気成分の変化を明らかにし、乳酸菌の種類及び発酵条件を制御することによる漬物の香りの制御技術を開発します。
硬質小麦「ゆめかおり」の物性解析による加工適性評価と高加工適性のための生育制御技術の開発に関する試験研究(メイン：農業総合センター)	H27-30	硬質小麦「ゆめかおり」のパン・中華麺の生地物性解析により、パン・中華麺の加工適性が最も優れる子実タンパク質含量を明らかにします。また、最適な子実タンパク質含量を得るための生育制御技術などを確立します。

●平成30年度 研究事業

調査研究	●絨織物	結城紬の特性を定量化し固有の特徴を提示するための研究や、変化織組織を取り入れた織物の組織と物性に関する研究を行っていきます。
	●笠間焼	笠間素地における顔料の相性等のノウハウを確立するための加飾技術の研究や、笠間産粘土をブレンドした陶芸素地の物性に関する調査研究を行っていきます。
中小企業IoT等自動化技術導入促進事業		
技術融合部門 Tel:029-293-7482	技術基盤部門 Tel:029-293-8575	IoTやロボットを用いた企業が実際に抱えている課題解決のための研究 センサシステム構築やロボット動作教示などIoT・ロボット技術者育成研修
いばらき日本酒ブランド推進事業		
食品バイオ部門 Tel:029-293-7497		県内酒蔵のさらなる技術力向上と人材育成の強化等に取り組む、県産日本酒のブランド力向上と販売促進を図ります。
杜氏育成コース ・杜氏としての意識や酒造技術の更なる向上と「酒造技能士」取得へ向けた講義や実習を行います。 日本酒マイスター制度「ひたち杜氏(仮)」の創設のための支援 次世代に向けた新しい清酒(低アルコール純米酒(12度)等)の試作開発		

企業の人財育成のお手伝いをします。

次世代技術活用 人材育成



技術融合部門
Tel:029-293-7482

材料評価, 解析シミュレーション, IoT 活用, 地域資源活用といった次世代の技術を活用できる競争力のある研究開発型企业育成の研修を行います。

講義と事例演習を通じて, 研究開発計画, 知的財産, 標準化, 産学官金連携, マーケティングなど, 研究開発の基礎となる知識と手法を修得します。

基礎課程

- ・受講対象 研究開発に意欲的な中小企業の社員
- ・定員 20 名
- ・研修費用 無料

企業内の要望にもとづくテーマの研修を通して, 実践的な手法を学びます。

応用課程

- ・受講対象 基礎課程修了者 または 中小企業に 5 年以上勤務の者
- ・定員 2 名 × 4 コース (材料評価技術, CAE 解析, IoT 活用, 地域資源活用)
- ・期間 3 ヶ月 ~ 6 ヶ月程度 (隔週 1 日 × 10 回程度)
- ・研修費用 研修内容により, 実費をいただくことがあります

結城紬後継者育成

紬技術部門
Tel:0296-33-4154

地機による結城紬の製織技術者を育成しています。
研修では, 製織の他, 染色や糊付け, 整経等下拵えの実習も行います。



生産技術者育成

食品バイオ部門
Tel:029-293-7497

微生物管理技術研修 食品の製造工程・製品の衛生管理に必要な微生物の測定技術等の研修を実施しています。

清酒製造研修 清酒の製造に必要な各工程の生産技術等の研修を実施しています。

笠間陶芸大学校



人材育成部門
Tel:0296-72-0316

「現代陶芸をリードする陶芸家を輩出する産地」と「手作りを基本に日用陶磁器を生産する産地」の両面を併せ持つ陶芸産地を担う人材育成を行います。

陶芸学科 (2 年制) 手びねりやタタラ, ロクロ, 石膏型による成形技術や絵付けによる加飾技術, 釉薬調合や焼成技術, 工芸史や造形理論などを幅広く学びます。

研 究 科 (1 年制) 学生が研究テーマを設定し, より高度な知識と技術の習得に取り組めます。

機器利用研修

工業系部門

開放機器利用研修

以下の開放機器等について操作方法の研修を実施いたします。

材料試験機 (インストロン万能試験機)
(先端材料部門 Tel:029-293-7492)

蛍光 X 線, 赤外分光光度計
(先端技術部門 Tel:029-293-7495)

表面粗さ輪郭形状測定機
(技術融合部門 Tel:029-293-7482)

E M C 関連設備
(技術基盤部門 Tel:029-293-8575)

●センター年間スケジュール

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
笠間陶芸大学校 施設公開			出前発表	笠間陶芸大学校 オープン キャンパス 出前発表	本所工事
10 月	11 月	12 月	31 年 1 月	2 月	3 月
笠間陶芸大学校 オープン キャンパス	結城紬 研究試作品 展示会			本所・支所 成果発表会	
本所機械金属棟工事（9月～H31年3月） 一部試験機器使用不可					

企業ニーズに対応した新たな取り組みや交流促進、連携のお手伝いをします。

●受託研究

H29実績77件

御社の“商品開発”“技術開発”“試験評価”“研究開発人材育成”などの課題解決に。
企業で実施が困難な新製品・新技術などの研究開発について、企業の皆様に代わり当センター職員が研究を実施します。御社の研究開発人材育成の支援として、当センター職員の派遣や御社技術者の受入れにも対応しております。

●受託研究（提案型） 当センターの技術シーズを活用いただく形での受託研究も行っております。

募集期間	随時受付けております	研究期間	当該年度内
成果等公開	非公開が可能です	費用	申請者(企業)の負担



●平成30年度 研究会 企業間の交流促進、情報共有、新技術・新事業の創出を目指す研究会です。

IoT・ロボット研究会	模擬スマート工場を活用した共同開発、技術セミナーなどの開催、ロボットティーチングなど技術者育成の支援を通して、県内中小企業の事業効率化を支援します。
サービス産業分科会	IoT・ロボット等の次世代技術を活用した新ビジネス・新サービスの創出を目指し、会員にサービス産業を含めた分科会を設立し、アイデア創出下地づくりやビジネスマッチング機会の創出、事業会・製品化につながるアイデア実現の支援を行います。
デジタルものづくり研究会	3D-CAD・CAE(シミュレーション)・3Dプリンタ・3Dスキャナ等の活用方法習得の場を提供し、3Dデジタル技術の理解および技術習得を図ります。
ものづくり技術研究会	当センター保有の機械加工、形状測定、強度測定及び組織観察の機器等を用いた勉強会を行います。これにより、当センターの機器活用や研究開発課題発見につなげます。
表面処理技術研究会	めっき、塗装、ドライプロセスによる表面処理の性能向上、環境負荷軽減、コストの低減への対応に向けた勉強会および研究発表会を行うほか、会員企業に個別に訪問して課題を伺い、困りごとの解決や技術開発を進めます。
清酒製造技術研究会	茨城の清酒のレベルアップを目指し、清酒製造技術に関する定期的な勉強会、清酒品質向上や製造技術者育成、技術情報の情報交換や共有を県内酒造業とともに取り組みます。
繊維強化樹脂研究会	今後、自動車を始めとする工業部品への適用拡大が期待されている「炭素繊維強化樹脂(CFRP)」の普及拡大に向けて、県内外の企業間連携や企業と研究機関との連携促進、工業技術センターにおける評価サービスの検討を行います。
結城紬生産技術研究会	本場結城紬の40以上ある製造工程について、効率的に人材育成を図るための技術テキストを作成します。またテキスト作成過程での情報交換や情報共有により、技術の改善及び向上を目指します。
やきもの焼成技術研究会	焼成技術について座学及び実習による操炉技術の理解及び焼成手法の習得を図り、適切な焼成技術の移転・普及を図り、品質向上と新商品開発を支援します。
陶磁器釉薬技術研究会	釉薬開発や改良に有効な基礎知識を学ぶ勉強会を開催することにより、会員および業界の釉薬技術のレベルアップを目指します。
石膏型技術研究会	石膏原型や鋳込み型などの製作技術を相互に学ぶ場を設け、量産性の向上だけでなく造形表現の多様化を目指します。

●連携促進

企業調査	職員が企業に積極的にお伺いし、当センターの事業紹介や企業ニーズの収集を行っております。
業界との情報交換	各業界の代表の方々と当センター職員とで、業界の技術的課題等について情報交換します。これにより、業界の活動や中長期的な計画を共有していきます。
産学官連携	産学官で取り組む研究事業に積極的に参画し、大学や県内中小企業とともに本県独自の新技術・新製品等の研究開発を進めていきます。
競争的外部資金導入支援	県内企業の研究資金獲得支援と、共同・受託研究、センター発の技術の事業化を促進するため、競争的研究資金の導入をご支援します。

※このページについてのお問い合わせは、産業連携室 TEL:029-293-7213 までご連絡ください。

■依頼試験・設備使用のご利用について

●工業製品の放射線量測定【無料】

県内中小企業を対象に工業製品の放射線量測定をしております。
食品・液体は対応しておりません。

※ご希望の方は、産業連携室 TEL:029-293-7213 までご連絡ください。

●依頼試験・設備使用 生産活動に伴うトラブル対策や、材料の分析、試作品の評価などにご活用ください。

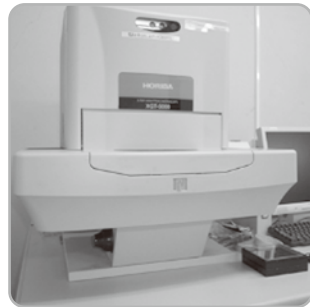
必要な書類	依頼試験には「試験・分析・検査申請書」が必要です。 試験に係わる成績書が必要な方は「成績書交付申請書」が必要です。 設備使用には「設備使用申請書」と「誓約書」が必要です。
ご利用時間	午前9時～午後5時（土・日・祝祭日は除く）
ご利用料金等	依頼試験手数料、設備使用料、成績書交付手数料は、ホームページをご覧ください。 機器、試験内容については担当部門へご相談下さい。なお、料金は前納となっております。

主な試験・設備



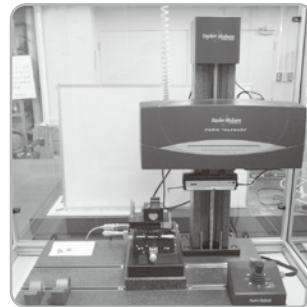
【材料試験】

- ・インストロン万能試験機
- ・微小ビッカース硬さ試験機 他



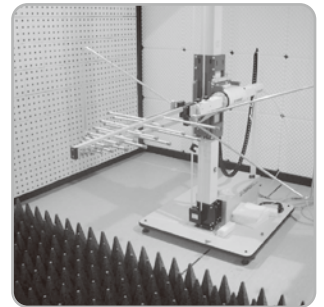
【成分分析】

- ・微小蛍光X線分析装置
- ・ICP発光分析装置 他



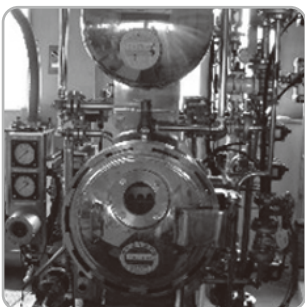
【精密測定】

- ・表面粗さ輪郭形状測定機
- ・三次元測定器 他



【電気試験】

- ・EMI機器
- ・RFイミュニティ機器 他



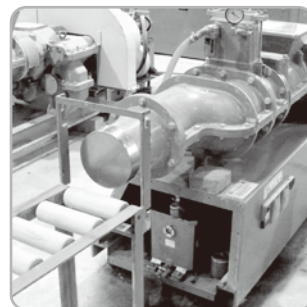
【食品分析・加工試験】

- ・高温高圧調理滅菌装置
- ・真空凍結乾燥機 他



【プラスチック、繊維試験】

- ・耐候試験機
- ・万能試験機 他



【窯業試験】

- ・真空土練機
- ・小型電気炉 他



【環境試験】

- ・複合サイクル試験機
- ・恒温恒湿器 他

NEW 平成29年度整備した主な機器



落下試験機



醸造用小型精米機



穀粒判別器

- ・重量布類洗濯機
- ・シールドルーム 他

IoT/食品棟の建設、既存施設の改修（精密測定や電磁ノイズ対策等への支援強化）及びこれらの機器整備は、平成28年度補正内閣府地方創生拠点整備交付金を活用しました。

上記以外にも試験項目、開放機器はございますので、さらに詳しく知りたい方、または各種申請書が必要な方は、当センターホームページ <http://www.itic.pref.ibaraki.jp/> の「依頼試験」「設備使用」をご覧ください。

■困ったときの相談先

皆様の日常的な生産活動における諸問題から競争的資金獲得,産学連携,将来へ向けた技術開発など,あらゆるご相談を,電話・来所・Eメールでお受けしますので,お気軽にお申し付けください。

・機械・電気・金属・化学・食品・デザイン・海外規格・イノベーション創出に関することは・・・

本所 産業連携室

▶▶▶ 電話 029-293-7213 Eメール renkei2@itic.pref.ibaraki.jp

●組織のご紹介

平成30年度の組織体制と対応している技術分野や研究開発等についてご紹介いたします。

産業技術イノベーションセンター本所（茨城町）	センター長		大力 賢次		産業技術イノベーションセンター総括
	副センター長		・郡司 文仁		事務系統括
			・児玉 弘人		金属, 化学, プラスチック, 陶芸大学校 統括
			・富長 博		電気, 機械, 食品, 繊維 統括
	企画管理部		産業技術イノベーションセンター本所の庶務経理を担っています。		
	Tel:029-293-7212（代）		・係長		山田 淳一
	部長：郡司 文仁(兼務)		・主任		安部 恵美子
					庁舎維持管理, 予算, 物品の調達, 監査等
					給与, 決算, 物品の調達, 福利厚生等
	産業連携室		産業技術イノベーションセンター全体の企画運営, 連携窓口, デザイン, 木工, イノベーション創出支援を行っています。		
	Tel:029-293-7213（直通）		・係長		木村 健太郎
	室長：齋藤 和哉		・主任研究員		石川 章弘
			・主任		山下 宏
			・主任		戸塚 貴之
			・嘱託		戸上 隆利
			・嘱託		由木 美晴
					事業予算管理, 海外展開支援, 公設試験場の広域連携
					業務全般取りまとめ, デザイン関連, 施設整備, 木工窓口
					工業技術研究会事務局, 特電研究取りまとめ, 成果発表会
					人材研修, メルマガ・HP発信
機械系	技術融合部門		ロボットによる自動化, CAD/CAM/CAE, 精密測定, 強度試験, 画像処理, 3Dプリンタ等に対応しています。企業の製品化・技術開発・自動化等の支援を行います。		
	Tel:029-293-7482（直通）		・主任		中川 裕光
	部門長：青木 邦知		・主任		岡田 真
			・技師		前島 崇宏
			・嘱託		柏 清隆
			・嘱託		堀内 義孝
					機械, 流体解析, 自動化技術, CAD, 3Dプリンタ
					機械, ロボット, CAD, 精密測定, 計測技術, 自動化技術
					機械, ロボット, 精密測定, CAD, 構造解析, 自動化技術, 放射線測定
					機械, 3Dシミュレーション, 人材研修
電気系	技術基盤部門		EMC・電気試験, 画像処理, マイコン制御などに対応し, 企業の製品化・自動化を支援してまいります。また, 次世代技術として, ロボット制御, IoT活用技術にも取り組んでまいります。		
	Tel:029-293-8575（直通）		・主任		磯 直樹
	部門長：若生 進一		・主任		平間 毅
			・主任		石川 卓
			・技師		河原 航
			・嘱託		小暮 誠
					電気, EMC・電気試験, センサ情報処理, IoT活用技術
					電気, 画像処理, 組込み技術, 計測・制御
					機械, ロボット・システム制御, 生産現場自動化, 生産管理
					電気, EMC・電気試験, センサ情報処理, 計測・制御
金属系	先端材料部門		金属材料に関わる技術開発を支援します。軽量化や加工に関する研究開発, 金属材料試験, 金属組織観察, シミュレーション技術等に対応しています。		
	Tel:029-293-7492（直通）		・主任研究員		行武栄太郎
	部門長：浅野 俊之		・主任研究員		磯山 亮
			・主任		石川 裕理
			・技師		吉岡 健
			・技師		勝山 秀信
					機械, 塑性加工, 摩擦攪拌接合, 軽金属材料
					機械, 疲労試験, 塑性加工解析, 強度試験, 組織観察
					機械, 強度試験, 組織観察, 硬さ試験, 塑性加工解析
					化学, 組織観察, 硬さ試験, 強度試験, 材料分析



・プラスチック・繊維・結城紬に関することは・・・

繊維高分子研究所

▶▶▶ 電話 0296-33-4154 Eメール senikou2@itic.pref.ibaraki.jp

・陶芸人材育成・窯業技術に関することは・・・

笠間陶芸大学校

▶▶▶ 電話 0296-72-0316 Eメール tougeidai@itic.pref.ibaraki.jp

本所（茨城町）

化学系

先端技術部門

Tel:029-293-7495（直通）

部門長：大城 靖彦

主に材料の分析評価，腐食特性評価，表面処理やRoHS指令などに対応しております。また，分析技術を活用した金属抽出システムやマイクロバブル洗浄技術の開発に取り組んでいます。

・主任	岩澤 健太	化学，分析・評価，表面処理
・主任	安藤 亮	化学，分析・評価，薄膜作成・評価
・技師	永島 佑樹	化学，分析・評価
・技師	安達 卓也	化学，熱測定，分析・評価

発酵食品系

食品バイオ部門

Tel:029-293-7497（直通）

部門長：武田 文宣

主に酒，漬物等の研究，技術開発，支援を行っています。その他県内の地域産業を活用した発酵食品の開発支援や技術相談，社内での微生物取り扱い技術者を養成する研修を担当します。

・主任	飛田 啓輔	化学，食品細菌検査，微生物利用食品
・主任	岩佐 悟	化学，食品細菌検査，香気成分分析，漬物製造技術
・技師	小田木美保	化学，食品細菌検査，食品成分分析
・嘱託	打木 裕子	化学，酒類分析，研究補助

加工食品系

地場食品部門

Tel:029-293-8576（直通）

部門長：吉浦 貴紀

菓子，米菓，納豆，醤油，味噌，野菜果実などの加工工程における殺菌方法の検討や成分分析等による品質管理などの技術相談に対応し，製品の高付加価値化に取り組んでいます。

・首席研究員	長谷川裕正	化学，納豆製造技術，食品加工技術，納豆業界支援
・主任	久保 雄司	化学，食品成分分析，納豆菌遺伝子解析
・主任	野口 友嗣	化学，食品細菌検査，食品成分分析

所長 中川 力夫

繊維高分子研究所総括

プラスチック系

素材開発部門

Tel:0296-33-4154

部門長：飯村 修志

プラスチック等高分子製品の試験，技術相談に対応しています。また県西地区の製造業企業支援のため，技術相談，各機関との連携事業に取り組んでいます。

・副主査	大吉 正巳	収入，支出，給与，物品，福利厚生，その他の事務
・主任	仁平 敬治	化学，複合材料，プラスチック材料試験
・主任	谷萩雄一朗	機械，プラスチック成形加工，樹脂流動解析
・主任	早乙女秀丸	機械，炭素繊維強化樹脂，プラスチックの成形加工，材料の物性試験
・技師	宇田 裕貴	化学，高次構造解析，プラスチック表面処理，化学分析
・嘱託	船橋 友里	プラスチック研究補助

繊維系

紬技術部門

Tel:0296-33-4154

部門長：篠塚 雅子

繊維素材，製品の試験研究や開発支援，結城紬の振興・人材研修に対応しています。

・主任研究員	本庄 恵美	染織技術，アパレル，縫製，繊維物性，消費科学試験
・主任研究員	中野 睦子	染織技術，染織加工，織物デザイン，繊維物性評価，後継者育成
・嘱託	渡邊 直子	結城紬後継者育成研修指導

学校長 金子 賢治

笠間陶芸大学校総括

副校長 佐藤 茂

笠間陶芸大学校長補佐

窯業材料系

工芸・材料技術部門

Tel:0296-72-0316

部門長：寺門 秀人

窯業分野に関する研究開発，窯業原料・石材の分析，釉薬，焼成技術者等の育成に対応しています。窯業資源を活用し，県内陶磁器の製品開発を支援しています。

・首席研究員	小島 均	化学，窯業材料分析，釉薬配合技術，材料試験，焼成技術
・主任研究員	吉田 博和	工芸技術，窯業材料試験，窯業原料分析，釉薬配合技術
・技師	曾我部 雄二	化学，窯業材料分析，釉薬配合技術，材料試験
・嘱託	小林 真弓	収入，支出，給与，物品，福利厚生，その他の事務
・嘱託	新島 佐知子	陶磁器成形技術，釉薬配合技術

陶芸技術系

人材育成部門

Tel:0296-72-0316

部門長：尾形 尚子

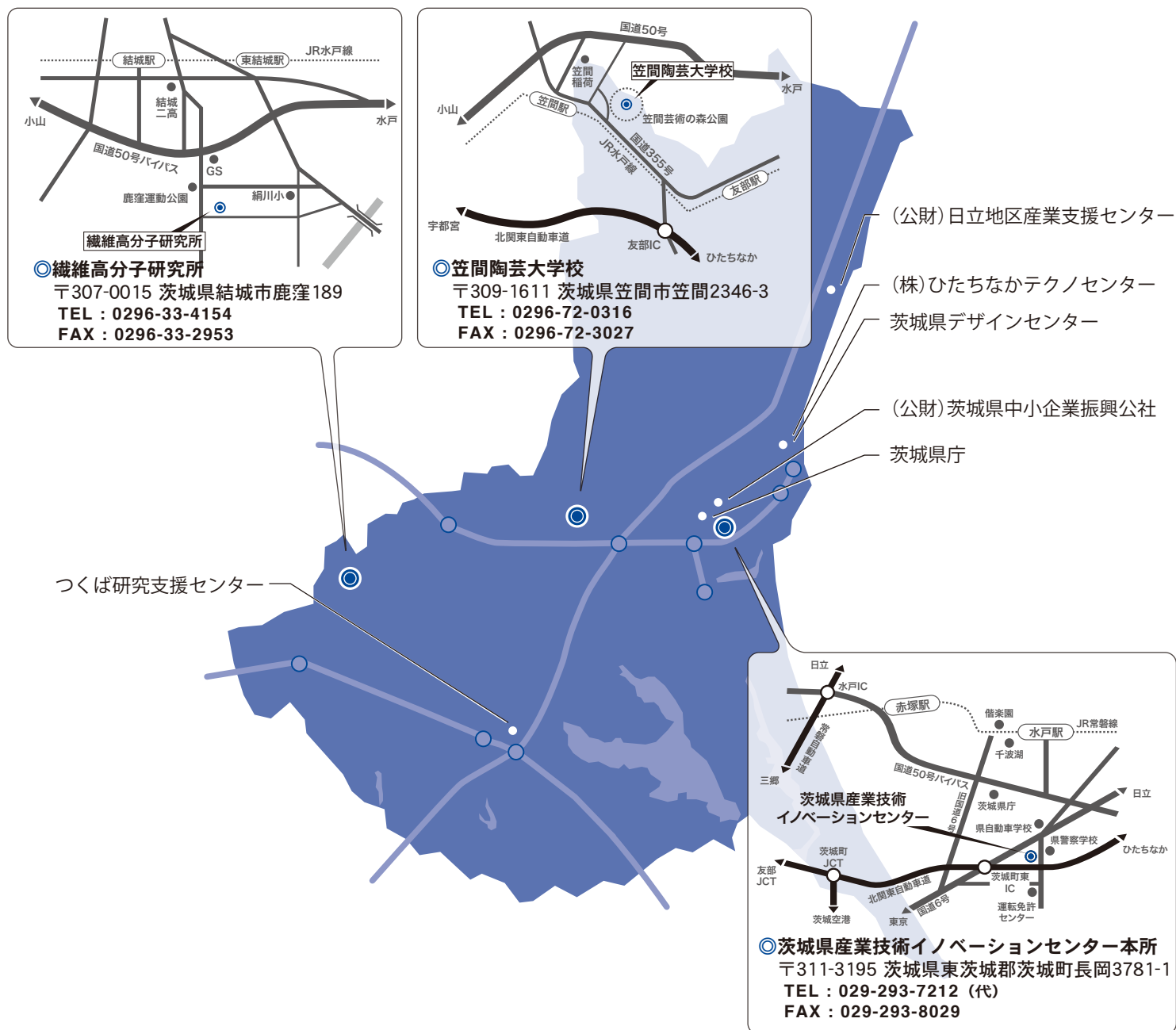
陶芸学科や研究科などにより陶芸産地を担う人材育成を行います。

・特任教授	佐藤 雅之	陶磁器成形技術，人材育成
・特任教授	五味 謙二	陶磁器成形技術，人材育成
・主任研究員	常世田 茂	工芸技術，陶磁器成形技術，焼成技術
・嘱託	根本 達志	陶磁器成形技術

笠間陶芸大学校（笠間市）

■各機関へのアクセスとお問い合わせ

当センター関連機関は○印



●**情報提供** 当センターの研究報告書や成果集、メールマガジン、ホームページなどにより、技術情報をご提供しています。

研究報告書	毎年の研究成果を研究報告書としてまとめています。
成果集	技術支援をした中から製品化・実用化などに結びついた成果について、事例をご紹介します。
ホームページ	当センターに関する情報発信や依頼試験等の申請書類、研究報告書等がダウンロードできます。 URL http://www.itic.pref.ibaraki.jp/ 笠間陶芸大学校では Facebook でも情報発信中です URL https://www.facebook.com/ibaraki.yogyo
メールマガジン 【月1回配信】	当センターに集まる技術シーズや法令、競争的資金等様々な情報をご提供いたします。 これら最新の情報はメールマガジンを中心に配信いたしますのでぜひご登録ください。 ● 茨城県産業技術イノベーションセンターメールマガジン 研究開発や課題解決に有用と思われる情報をリアルタイムにご提供いたします。 《お申込み方法》電子メール renkei2@itic.pref.ibaraki.jp まで 件名を「メール配信希望」としてご連絡ください。 ● 結城紬産地メールマガジン 一般向けの結城紬産地のイベント情報や産地企業向けの情報を配信しています。 《お申込み方法》ホームページ http://www.itic.pref.ibaraki.jp/seni/ から ご登録いただけますのでご覧ください。